



## 大阪部会(第 24 回)

日 時: 2011 年 7 月 2 日(土) 18:00~20:00

場 所: 同志社大学 大阪サテライト

### 【内容要旨】

第 24 回の大阪部会は 15 名の参加者であった。

- (1) まず初めに、経済教育ネットワークの篠原総一代表から、6/25 に札幌市立啓明中学校で開催されたワークショップについての報告があった。札幌では 2 月にも開催され、8 月にも開催されることになっている。
- (2) つづいて「先生のための夏休み経済教室」(東京証券取引所との共催、日本銀行との提携)の内容について報告された。今年度も初めての試みがいくつかあり、そのうち「地理歴史を経済の視点から読み解く」(篠原代表担当)についての意見交換があった。東京部会でも、山崎辰也氏(筑波大学大学院)からの提案があったようである。
- (3) 雑誌『経済セミナー』に、経済教育ネットワーク所属の中高教員による連載「中学・高校の経済学教育」が始まっている。第 2 回「市場経済を中学・高校で教えるには」を担当した山本雅康氏(奈良学園中学高校)から、内容が紹介され意図が説明された。
- (4) その他、入試プロジェクトの今年度方針などについての意見交換があった。
- (5) 東京部会で高橋勝也氏(桜修館中等教育学校)から報告された、便乗値上げの例で道徳と経済の関係を考える教材が紹介された。「道徳」の問題と経済学的な考え方の関係は誤解されている面があり、どのように教えるかについて議論された。
- (6) 最後に、野間敏克(同志社大学)から、「中高社会科教員のための経済学入門」と題したテキストをもし作るとしたら、どのような内容構成にするのが望ましいのかについて、たたき台となる案が提出された。必ずしも経済が得意でない現場の教員にとって役立つテキストにするには、経済学に慣れた大学教員とは異なる発想が必要であることが明確になった。

(文責 野間敏克)

次回開催予定: 2011 年 9 月 3 日(土)18:00~20:00 同志社大学大阪サテライト